

会社概要：RCT株式会社 2019年7月

設立：2008年12月

代表取締役：平田 史明 資本金：500万円

ヘルスケア領域に特化した事業開発コンサルティング。

「デジタルな道具とデータ、その活用」により、「ユーザー起点のヘルスケアサービスを創って、作って、売る」を目的とするプロジェクトの組成と運営を行う。

RCTはReliable Care & Technologyの略。

3R: Reliable Reasonable x Repeatable

3C: Community>Care>Cure

3T: Technology Tactics x Team

E-Mail: hirata@rc-t.com HP: <http://rc-t.jimdo.com/>



事業概要:

- ミッション:

Personalized(個人対応)、Precise(正確)、Predictive(予測)、Preventive(予防)、

Participatory(参加型)のヘルスケアサービスを日本並びにアジアで実現する。

- 目的:「がん、精神疾患、生活習慣病」の早期発見・早期対応が目的。

- 目標1:ケアの受け手と出し手との間の情報共有基盤の構築とサービス提供。

- 目標2:ゲノム情報を含む個人健康史データベースを構築とサービス提供。

- 順次、多企業連携スキームを組成し、プロジェクトを立ち上げる。

代表取締役 平田史明(ひらた ふみあき)

1961年 鹿児島生まれ。

1985年京都大学法学部卒。

30年以上のファイナンスとプロジェクトマネジメントの経験。

15年間日本興業銀行勤務後、

(金融商品開発、システム管理、ロンドン支店、シンガポール支店等)

2001年から、新規事業立ち上げ、ベンチャー企業支援のプロジェクトに参画。

特にIT、バイオテクノロジー、医療、ヘルスケア領域。

2006年2月-2008年1月 株式会社Cell Force 代表取締役

(付着系細胞の自動培養装置開発)

2008年12月- RCT株式会社 代表取締役(現任)

ヘルスケア領域に特化した事業開発プロジェクト立ち上げと運営。

PACS、PHR、ポータブル医療機器、リハビリ機器、

乳がんプレスクリーニング機器、陽子線治療施設等。

対象のシフト:「患者」から「個人」へ

現状: 病院内の医療サービス: 患者向け中心

共有するもの

- デバイス(道具)
- データ(情報)
- ゴール(目的)

1. データ

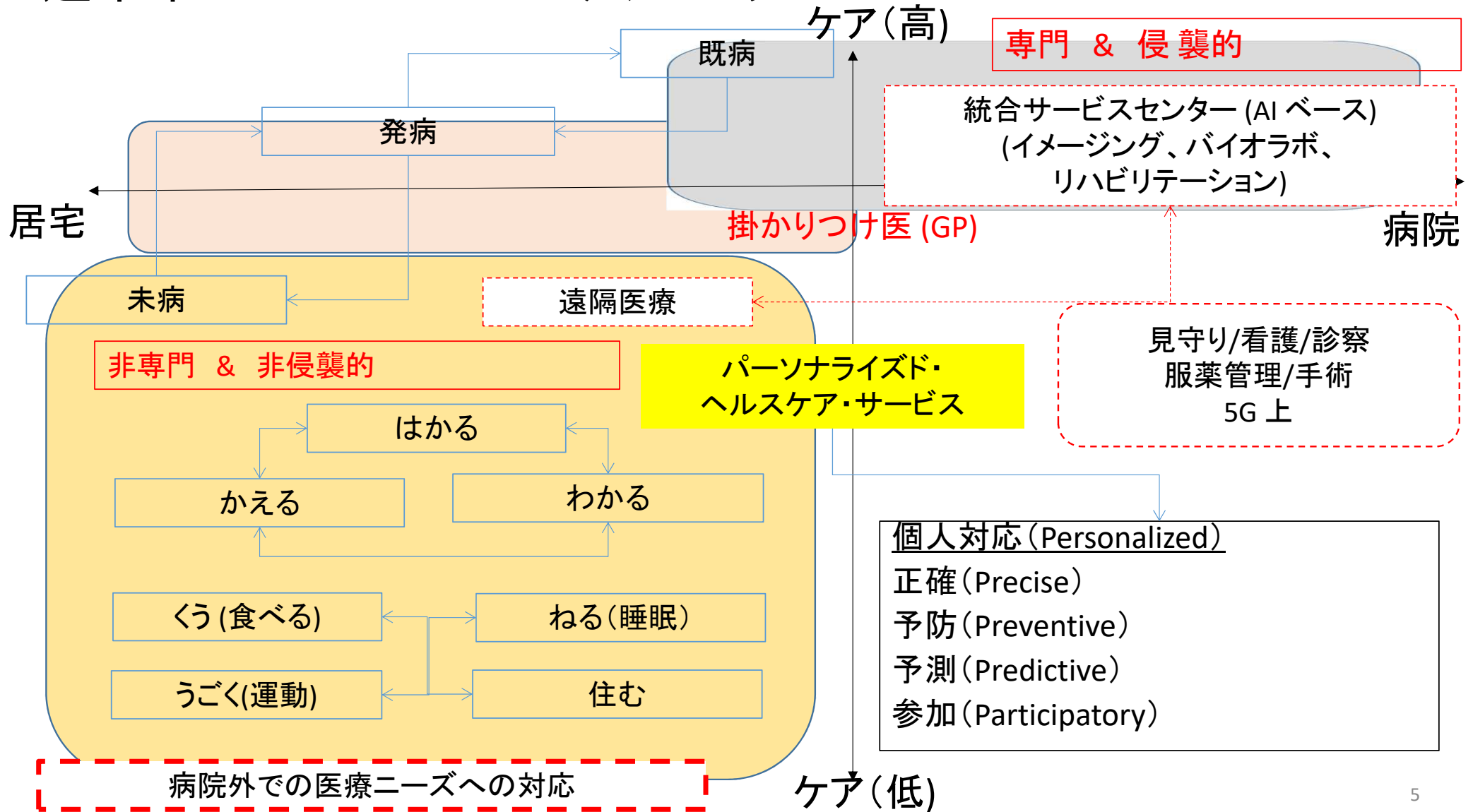
ゲノムデータ+EMR (電子カルテ、介護記録等)
+ PHR (パーソナルヘルスレコード)

2. デジタル革命によるインフラ進化

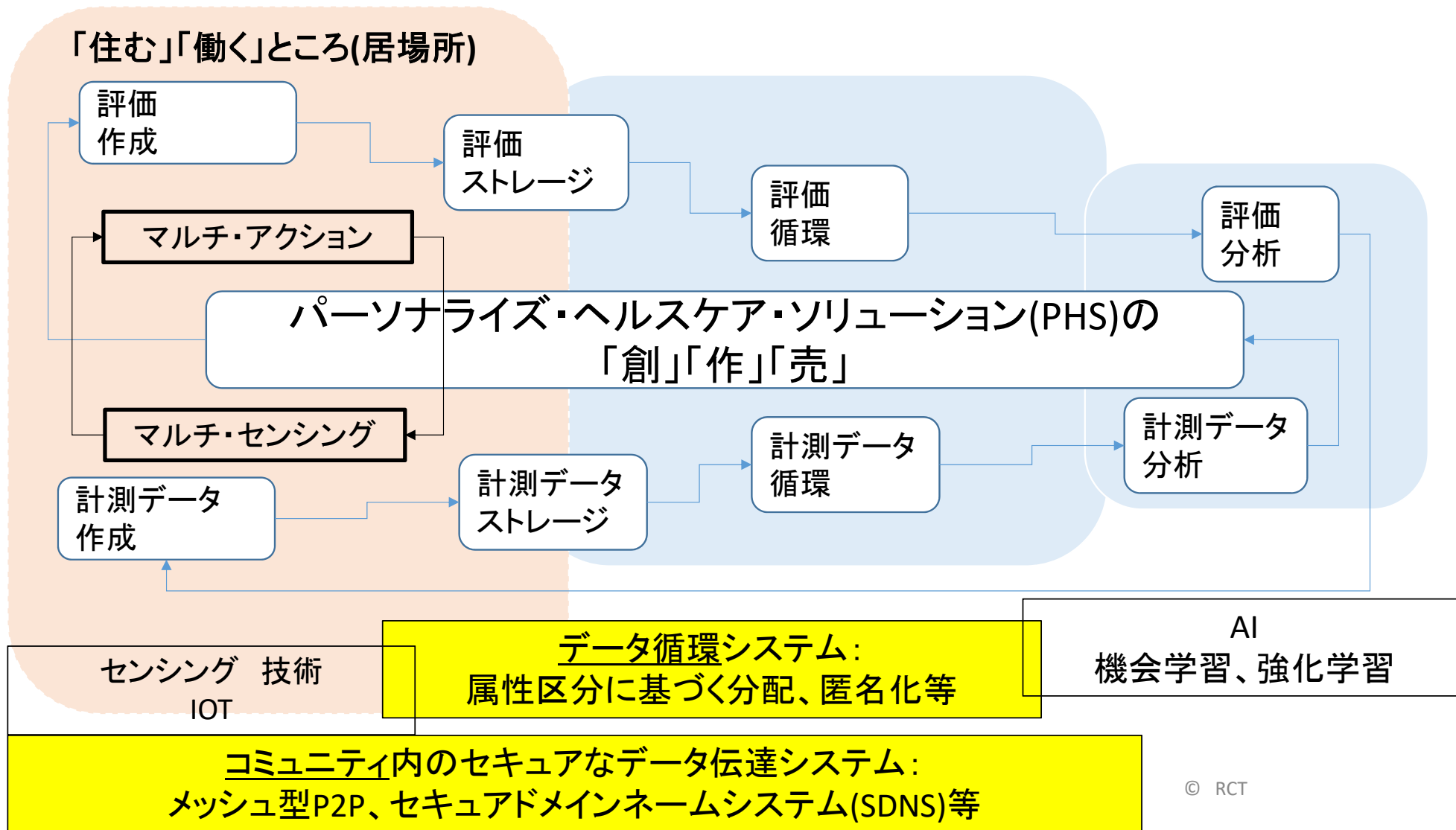
IOT、AI、匿名オープンデータベース、5G

近未来: 病院外の医療・健康追及ニーズに対応
個人、プロフィール共有者、コミュニティ

近未来の5G上のヘルスケア・マップ



ライフ・ケア・アシスト(Life-Care-Assist): 日々の暮らしの中で



PLR>PHR > EMR 時系列蓄積で個人(健康)史に

PLR
Personal
Life
Record

PHR: Personal Health Record
個人健康記録
(構造化データ、デジタル)

マルチセンサー

非接触型

壁および天井の取付けセンサ

Wi-fi

シート型センサー

接触タイプ

リストバンド型センサー

パルスオキシメーター

PHR
(非構造化データ、
テキスト)

自然言語データ

自己評価

セルフ問診

生活記録

コミュニケーション

ケアテイカー間

ケアテイカーとケアギバーの間

ケアギバー間

EMR: Electric Medical
Record
電子カルテ、介護記録 等

医療データ

介護記録

電子カルテ

健康診断